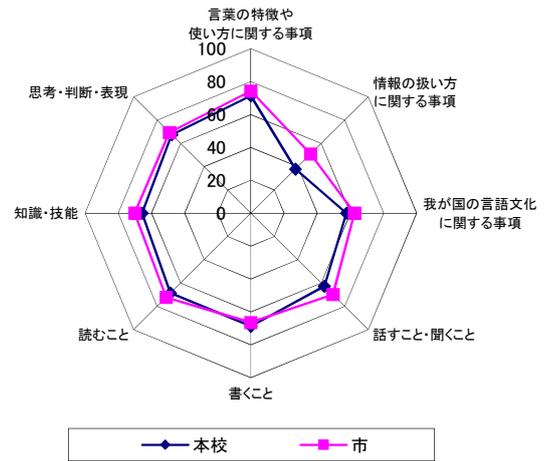


宇都宮市立城山東小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	言葉の特徴や使いに関する事項	71.3	74.3	74.8
	情報の扱い方に関する事項	37.9	50.9	48.4
	我が国の言語文化に関する事項	57.6	62.4	60.8
	話すこと・聞くこと	62.6	69.9	69.7
	書くこと	68.7	66.4	64.6
観点別	読むこと	68.7	72.3	71.0
	知識・技能	65.6	70.1	70.0
	思考・判断・表現	67.5	69.5	68.2

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

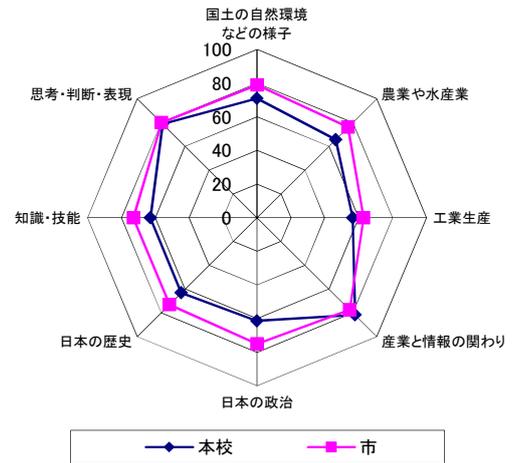
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方に関する事項	<p>○漢字の読み書きについてはほとんどの問題で、8割以上の正答率になっている。繰り返し練習している成果が表れていると考えられる。</p> <p>○文章を書く際の段落の役割については、しっかりと理解し、指定された条件で書くことができていた。</p> <p>●同じ読みの漢字の使い分けや尊敬語について理解し、文の中で正しく用いることに課題が見られた。</p>	<p>○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの</p> <p>●漢字や尊敬語や謙譲語などについては、宿題や朝の学習などで定期的に練習や小テストを行い、定着を図る。</p> <p>●漢字辞典や国語辞典を活用し、読み書きだけでなく、意味を正しく理解して漢字が使用できるようにする。</p>
情報の扱い方に関する事項	<p>○短答式の設問では、情報と情報の関係について理解し、情報を整理して語句を書き抜くことができた。</p> <p>●記述式の設問では、情報と情報との関係について理解し、目的に応じて、文章を簡単に書くという問題で、正答率は2割程度であった。2割は無回答であり、資料に書かれている情報と問題で問われていることをつなげるところに課題があると考えられる。</p>	<p>●国語や総合的な学習の時間などの調べ学習の際、目的を明確にしてそれに沿った資料を選ぶように、また、得た情報をそのまま書き写さず、必要な情報を抜き出してまとめられるように指導する。</p>
我が国の言語文化に関する事項	<p>●説明に合う漢字を見つける設問では、漢字の由来や成り立ちについて課題がみられる。</p>	<p>●漢字について書いて練習するだけでなく、漢字の由来についても興味をもって調べられるように、国語や朝の学習の時間に一人一台端末を活用し、漢字の由来や成り立ちについての定着を図る。</p>
話すこと・聞くこと	<p>○話し合いから反対意見の理由を聞き取る設問では、全児童が正しく答えることができた。話し手の目的に応じて、話の内容を捉えることができていた。</p> <p>●話し合いのテーマから外れた意見に対して司会者としてどのような注意をしたらよいかという記述式の設問では、正答率が1割程度であった。互いの立場や意図を明確にしなが話し合いを進めることに課題があると考えられる。</p>	<p>●話し合い活動において、話し合いの目的を明確にしたり、「考えるときのヒント(比べる、つなげる、分類する、など)」や「みんなで学び合い伝え合おう」の教室掲示を活用したりして、友達の話を主体的に聞くことができるようにする。</p>
書くこと	<p>○情報をもとにわかることを書く問題では、グラフや文章をよく読み、内容を理解することができた。</p> <p>●自分の考えを書く設問では、グラフなどを理解し、内容を書くことはできたが、自分の考えを明確に書くことに課題が見られた。</p>	<p>●授業や宿題などを活用し、自分の考えを書くことに慣れていけるように指導する。</p> <p>●情報をもとにわかることを書くことについては、国語だけでなく、社会や総合的な学習の時間などの調べ学習で、目的に沿った資料を選ぶようにしたり、必要な情報を抜き出してまとめられるよう指導する。</p>
読むこと	<p>○物語の内容の読み取りでは、描写をもとに登場人物の心情や行動についておおむね捉えることができていた。</p> <p>○説明文の内容の読み取りでは、約7割の児童が文章の論の進め方を捉えることができていた。</p> <p>●説明文の内容を読み取り、文章全体の構成を捉えることに課題がある。</p>	<p>●物語文の学習では、作品内の叙述や描写を細かく捉え、捉えたことを人物の心情や関係性と関連付けて読み取っていけるように指導する。</p> <p>●説明文の学習では、段落ごとの要旨から文章全体の構成を捉えることができるよう指導する。</p>

宇都宮市立城山東小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の自然環境などの様子	70.9	78.9	75.4
	農業や水産業	65.7	76.1	71.2
	工業生産	56.6	62.9	59.4
	産業と情報の関わり	81.8	77.6	59.7
	日本の政治	61.4	75.0	79.3
	日本の歴史	63.3	73.1	72.8
観点別	知識・技能	62.9	73.0	71.4
	思考・判断・表現	78.8	79.8	71.9

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

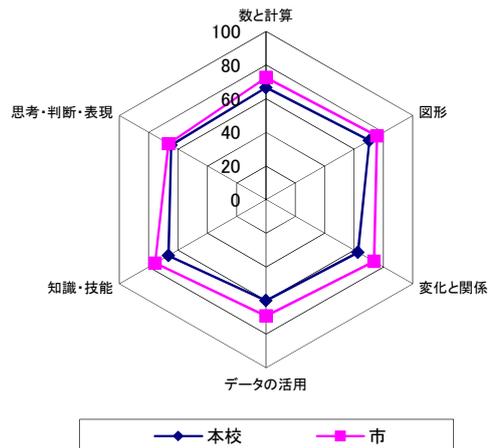
○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の自然環境などの様子	○日本の周辺の海洋の名前や国の位置を選ぶ設問では、正答率が約8割であった。 ○津波から生活を守る取り組みについて問う設問では正答率が約9割と、よく理解しているといえる。 ●日本の主な地形の名称と位置の理解をもとに地図を読み取る設問では、理解が不十分であるといえる。	・周辺の海洋名や主な国の名称と位置、また日本の主な地形の名称と位置については、今後も世界地図や日本地図などの掲示資料を活用し、児童自身が日常的に自ら確認できる環境を整え、日本とつながりのある諸外国との関係について学ぶ際にも、その都度場所を確認するなど、関連付けて学習できるよう工夫していく。
農業や水産業	○複数の資料に着目して魚の流通費用について考える設問では、正答率が約8割であり、資料を的確に読み取る力がついてきているといえる。 ●米の生産量の表を読み取り、当ではまる都道府県に位置に色をぬる問題の理解が不十分であるといえる。	・今後も、社会科や総合的な学習の時間などで、複数の資料を読み取り、考えを表現する活動を多く取り入れていく。
工業生産	●自動車工場の作業工程や、大工場、中小工場について、また日本の鉱山資源の輸入についての設問では、正答率が7割に満たず、理解が不十分であるといえる。	・ICT機器や映像教材等を活用し、視覚的に理解できるようにする。 ・地域の特色や輸送の働きなどと関連付けながら学習を進めていく。
産業と情報の関わり	○インターネットを利用するときの注意点について正誤を判断する問題では正答率が約9割と、よく理解しているといえる。 ○資料からポイントカードの利点を読み取り、表現する問題では、正答率が約7割であり、市の正答率を上回った。	・今後も、身のまわりの情報メディアの特徴を理解させるとともに、その利便性や活用する上での問題点など、自分の生活と結び付けて考えられるように指導を行う。
日本の政治	○日本国憲法の三原則について記述する問題では、正答率が高く、よく理解しているといえる。 ●国会の仕組みや裁判の仕組みについては課題がある。	・今後も、自分たちの生活と結び付けて政治について考えていけるように指導を行う。
日本の歴史	○●日本の歴史の領域では、弥生時代の暮らしや織田信長の働きの理解については、正答率が約8割とおおむね理解しているといえる。一方で、室町文化についてや、武家諸法度に関する設問で正答率が低く、理解が不十分であるといえる。人物と時代や出来事が結び付いていないことが課題である。	・歴史の領域では、興味、関心に個人差が大きく見られることから、歴史に関する書籍の紹介するなど、歴史に関心をもてるような環境を整え、興味をもって学習に臨めるように配慮する。また、年表にまとめるなどの復習をして、定着を図る。

宇都宮市立城山東小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	66.7	72.6	73.1
	図形	70.5	75.7	74.7
	変化と関係	62.6	73.6	66.1
	データの活用	60.1	69.2	70.7
観点別	知識・技能	66.5	75.5	74.4
	思考・判断・表現	64.6	66.5	67.2



※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。
(算数では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。)

★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

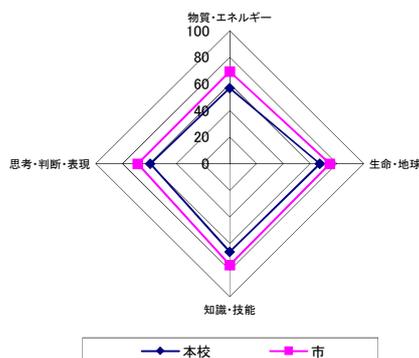
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<p>○分数×分数や分数÷分数の計算の正答率は9割近く、理解ができていると言える。</p> <p>○文字を使った式が表す場面を選ぶ問題では、正答率が7割以上と高く、具体的な場面と、文字を用いた式を結び付けて捉えることができた。</p> <p>●分数+分数の問題では、正答率が6割にとどまり、通分の仕方に課題が残った。</p>	<p>・文字を使った式では、当該学年より下の学年の問題から繰り返し復習をし、定着を図る。問題を解く際には、文字に具体的な数字を当てはめ、式の意味を理解できるように指導する。</p>
図形	<p>○線対称と点対称な図形に関する問題では、正答率が8割以上となり、図形の性質を理解することができている。</p> <p>●直方体を組み合わせた形の体積の求め方についての問題では、正答率が7割に満たず、課題が残った。</p>	<p>・図形については、具体物を使って、立体のイメージを膨らませるようにし、理解を深めさせたい。</p> <p>・複合図形の体積の求め方については、正答がいくつかあるので、1つ1つ解決方法を確認して、求積できるようにしていく。</p>
変化と関係	<p>○速さの単位に関する問題の正答率は、市の平均正答率と同等となり、速さの単位の間隔を理解し、分速を秒速や時速に直すことができている。</p> <p>●全体の何%かを答える問題では、正答率が7割に満たず、百分率を用いた表し方や、割合などを求めることに課題が見られる。</p>	<p>・単位量当たりの大きさや速さについては、朝の学習等で復習をし、定着を図る。</p> <p>・速さについては、式をそのまま覚えるのではなく、生活の中での時間と距離、速さの関係を結び付けて考えていけるように指導を行う。</p> <p>・式や図、言葉を使って自分の考えを伝える活動を今後も積極的に取り入れ、表現力を高めていく。</p>
データの活用	<p>○代表値を用いて、ある一つの記録がクラスの半分より高い記録なのかどうかを答える問題では、市の平均正答率を上回り、自分の考えを言葉で表現することができていた。</p> <p>●円グラフから割合を読み取り、比較量を求める問題の正答率が低い。</p>	<p>・グラフの読み取りについては、グラフからどんなことが分かるかということ算数だけでなく、他教科でも行っていく。また、グラフの中の数字を使いながら、基準量や比較量が何を表しているのかを考え、そこから割合を求めることに繋げていきたい。</p>

宇都宮市立城山東小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	56.9	69.3	65.7
	生命・地球	67.2	74.7	77.8
観点別	知識・技能	66.2	76.2	76.4
	思考・判断・表現	59.2	68.7	68.6

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	<p>○「物の燃え方」では、実験をするときに気を付けることを問う設問で、正答率が9割を上回っている。また、密閉容器の中でロウソクが燃え続けることができない理由について記述する設問の正答率が、市の平均より大きく上回った。</p> <p>○●「電流のはたらき」では、コイルの巻き数の多い電磁石が強い磁界を生じることを、多くの児童が理解していたが、電磁石に近づけた方位磁針の極と電磁石に生じた極との関係については理解が不十分であった。</p> <p>●「ふりこのきまり」では、ふりこの一往復する時間の求め方や、一往復する時間と重りとの関係について理解が不十分であった。また、ふりこの比較実験の方法の理解に課題がある。</p>	<p>・ふりこや電磁石など復習を行い、さらに基本的な磁石や方位磁針の性質について振り返りを行う。</p> <p>・身の回りの現象と結びつけることで興味もてるように学習の導入を工夫する。</p> <p>・1人1台の端末を用いて、観察・記録の写真を見直したり、実験では気づきづらい細かな変化を動画などで確認したりできるようにする。</p>
生命・地球	<p>○「動物のからだのつくりとはたらき」では、人の唾液のはたらきがよくなるのが何度ぐらいの時かを問う設問で、市の正答率を大きく上回った。また、すりつぶしたご飯に唾液を入れたものと水を入れたものに、ヨウ素液を加えた結果から、唾液がでんぷんを分解していることを多くの児童が理解していた。</p> <p>○「植物のつくりとはたらき」では、植物の葉のでんぷんをつくるはたらきと日光の関係を調べるために、対照実験を行う理由を問う設問で、市の正答率を上回った。また、多くの児童が、葉のヨウ素でんぷん反応の結果から、でんぷんができていない葉を正しく選ぶことができている。</p> <p>●「月と太陽」では、月が輝くことに太陽が関係していることや、月と地球と太陽の位置から月の見える形が変わることなどの理解が不十分であった。</p>	<p>・人の成長には水や食事が必要であると同様に、植物は日光を浴びてでんぷんをつくり栄養としていることなどを復習する。</p> <p>・月の見え方は、月と太陽と地球の位置関係を正しくとらえ、球体に光があたったときにどのように見えるのかを捉えることが困難であることから、ボールなどを用いた実験や、動画によるシミュレーションなどを利用して理解を深めたい。</p>